

フルードヘッド シネ 7+7HD 取扱説明書



製品コード : 1910



はじめに

このたびはザハトラーカメラサポートシステムをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。製品をご使用になる前に、必ず本取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。また本書は必要なときにいつでも読めるよう、大切に保管してください。

1 安全に使用するために

本取扱説明書では、お使いになる方や他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、危険を伴う操作・取扱いについて次の記号で警告表示をしています。内容をご理解のうえ、以下の事項を必ずお守りください。



警告

取扱いを誤った場合、使用者が「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を示しています。



注意

取扱いを誤った場合、使用者が「軽傷を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容を示しています。



注意

- カメラを取り付けた状態で、フルードヘッドのクランプノブを緩める際は、カメラがフルードヘッドにしっかりと固定され、ヘッドから脱落する可能性がないことを確認してから行ってください。
- チルトブレーキやカメラプレート固定用のサイドロードレバーを緩める際には、カメラが突然動かないように確実に固定されていることを確認してから行ってください。
- 三脚の運搬時は、必ずパンおよびチルトドラッグ・ダイヤルを“0”（フリー）に戻してください。
- サイドロードレバーを運搬用のハンドルとして使用しないでください。

2 各部名称

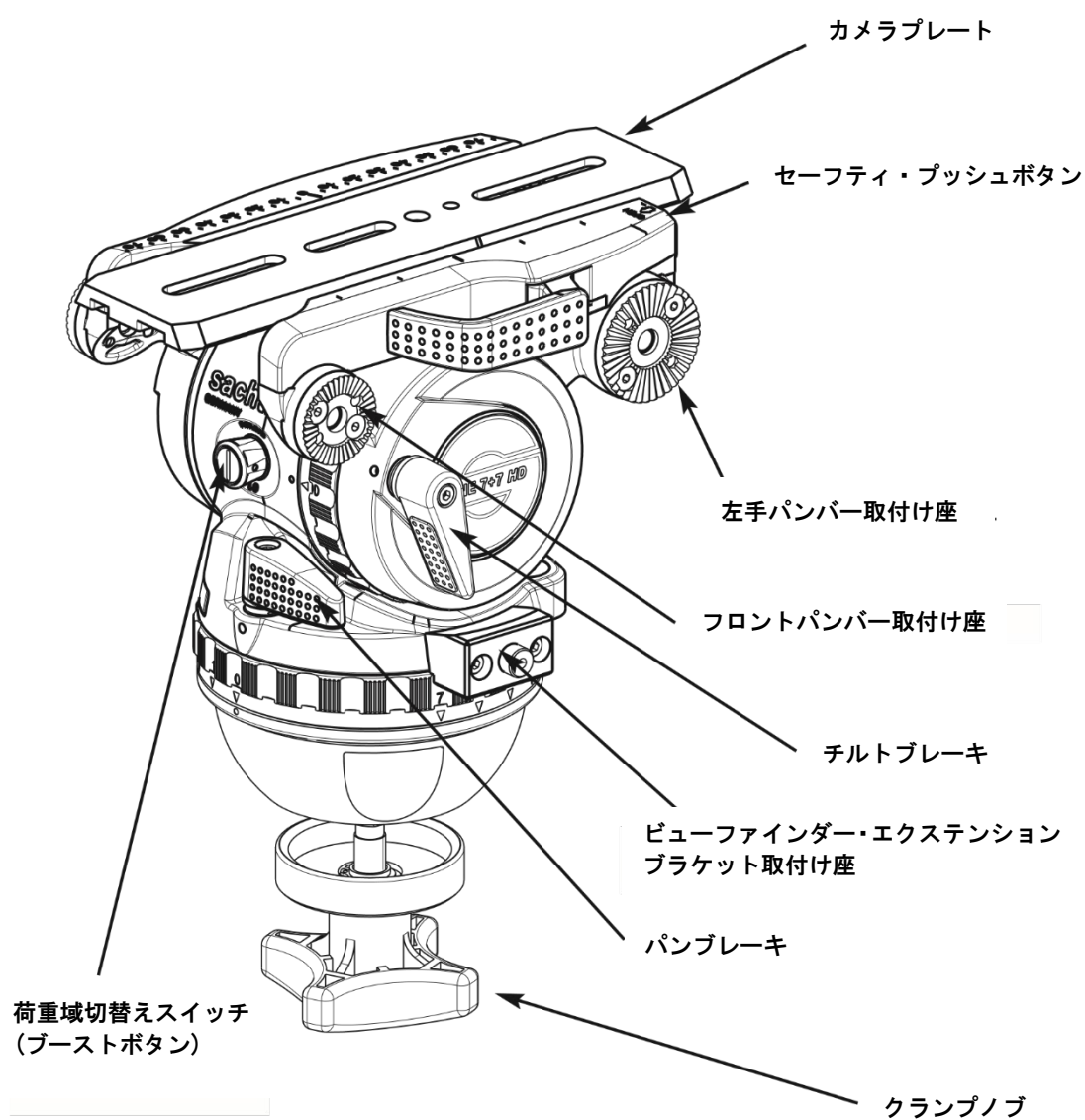


図 1

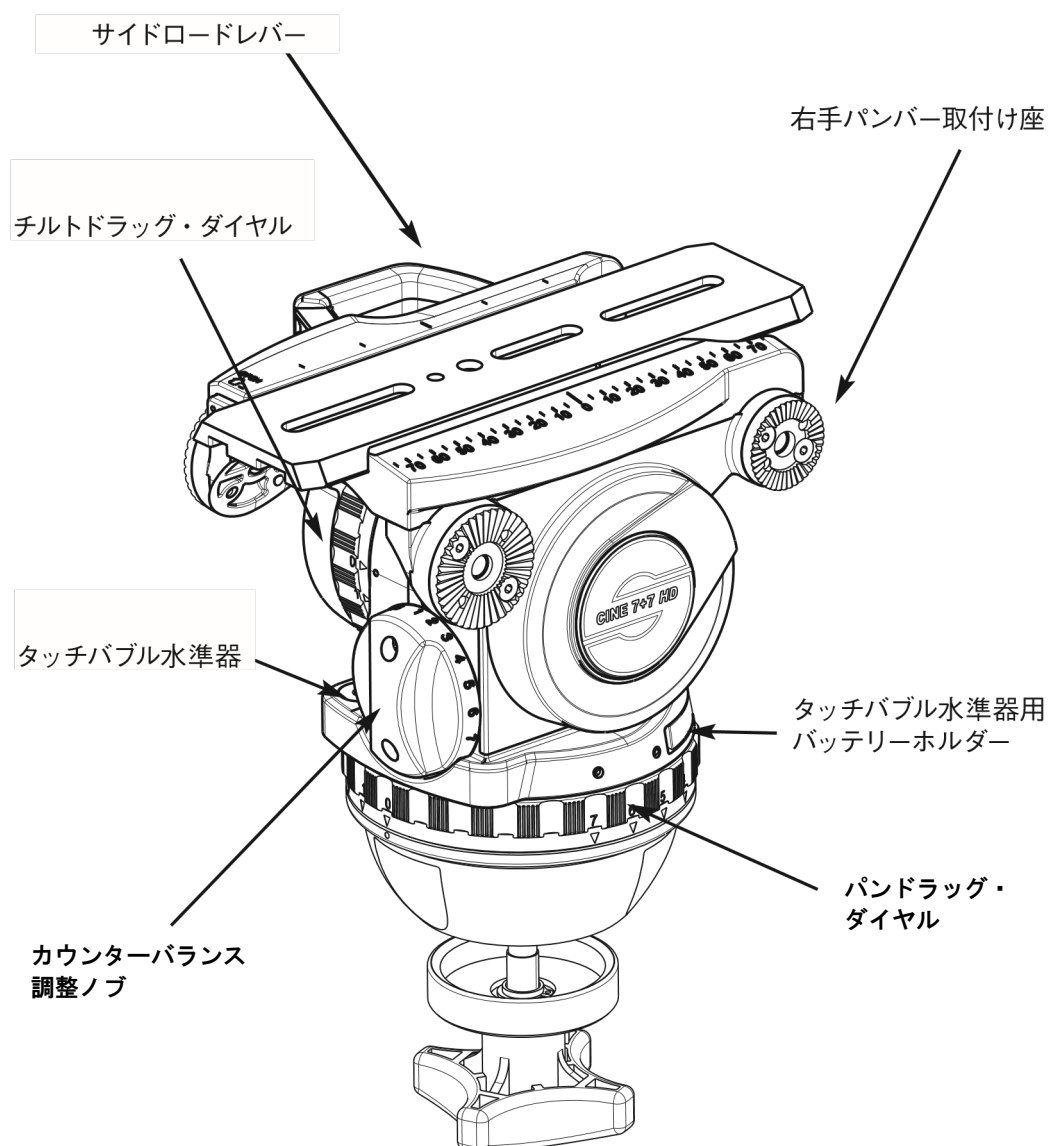


図 2

3 操作方法

3.1 はじめに

本製品はカメラをパン方向およびチルト方向に動かすことが可能なフルードヘッドです。最大耐荷重については、『4 テクニカルデータ』を参照してください。

3.2 パンバーの操作

パンバーのクランプレバーを緩め、任意の位置に移動させ、再びクランプレバーを締めてください。レバーを緩めると、パンバーは回り、任意の角度に調整することができます。三脚を移動する際は、パンバーを三脚脚部の横に平行に位置するよう移動させてください。

注意：パンバーの角度を調整する際は、クランプレバーを取付け座から、菊座同士が干渉しなくなるまで十分に離し、緩めてください。クランプレバーを締める際は、菊座同士が完全に噛み合ったことを確認してから締めてください。付属のパンバーはフルードヘッドの左側に取り付けることも可能です。パンバーをヘッドから取外し、先端の黒色のキャップを、コインもしくはドライバーで取り外してください。クランプレバーを外し、逆さまに取り付けます。取り付けた後、再びキャップをしっかりと締め込んでください。

3.3 フルードヘッドの水平調整

チルトブレーキをかけ、一方の手でカメラを押さえながらクランプノブを緩めます。水準器の気泡が黒い円の中に入るようヘッドを動かしてください。位置が決まったら、クランプノブをしっかりと締め込みます。

タッチバブル水準器

シネ 7+7HDには、照明環境が整っていない現場でも容易に水準調整をすることが可能な、自照式タッチバブル水準器を搭載しています。照明は、水準器表面を指で強く押さえると発光し、押さえる力加減により最大 20 秒まで点灯します。

3.4 カメラもしくはプレートの搭載

- ⇒ パンおよびチルトブレーキをかけてください。
- ⇒ 片方の手でカメラもしくはプレートを押さえます。
- ⇒ 図3 “OPEN” のように、セーフティ・プッシュボタンを親指で押さえながら、サイドロードレバーを完全に開いてください。

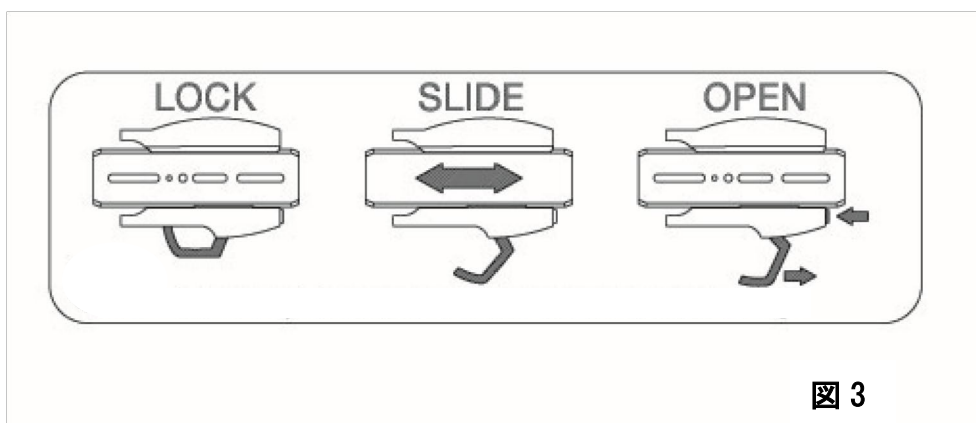


図 3

- ⇒ この状態で、カメラプレートはロックが解除され、フルードヘッドから取り外すことができます。
- ⇒ カメラプレートをカメラへ取り付けてください。
- ⇒ カメラプレートには、3/8”ネジが2つ標準で付属しています。
- ⇒ 使用するカメラに 1/4”と 3/8”ネジ、もしくは 1/4”ネジとノッチピンを取り付ける必要がある場合には、図4の収納座にあるネジを使用してください。
- ⇒ 1/4”ネジはカメラプレートのどの位置にも取り付けられます。ノッチピンおよび 3/8”ネジは、プレート上の所定の位置に取り付けてください。

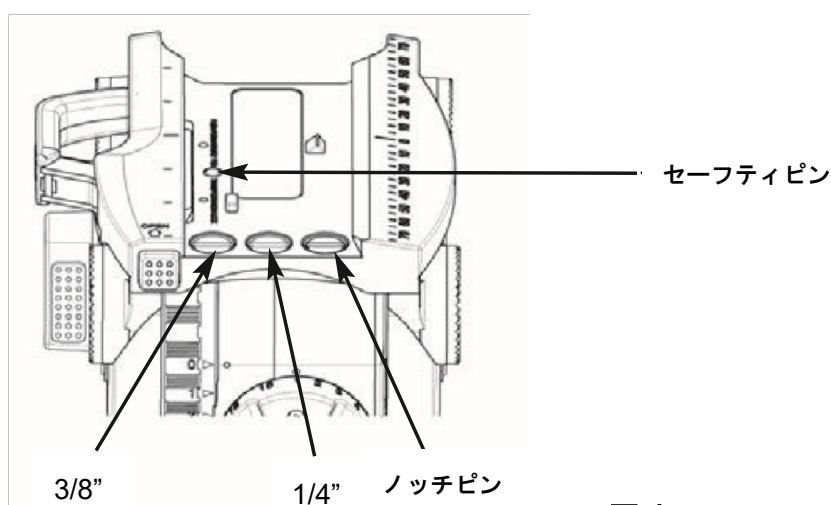


図 4

- ⇒ カメラ（プレート）をフルードヘッドへ取り付け際には、プレートの片側の側面をトッププレート上のスライド目盛り側の側面に差し込みます。（図 5 矢印 A 参照）
- ⇒ 差し込んだ状態から、そのままプレートのもう一方を下に降ろすと、カチッと音がしてカメラプレートが装着されます（矢印 B）。
- ⇒ この状態でカメラ（プレート）はヘッドに搭載されていますが、スライドさせることは可能です。固定はされていません。

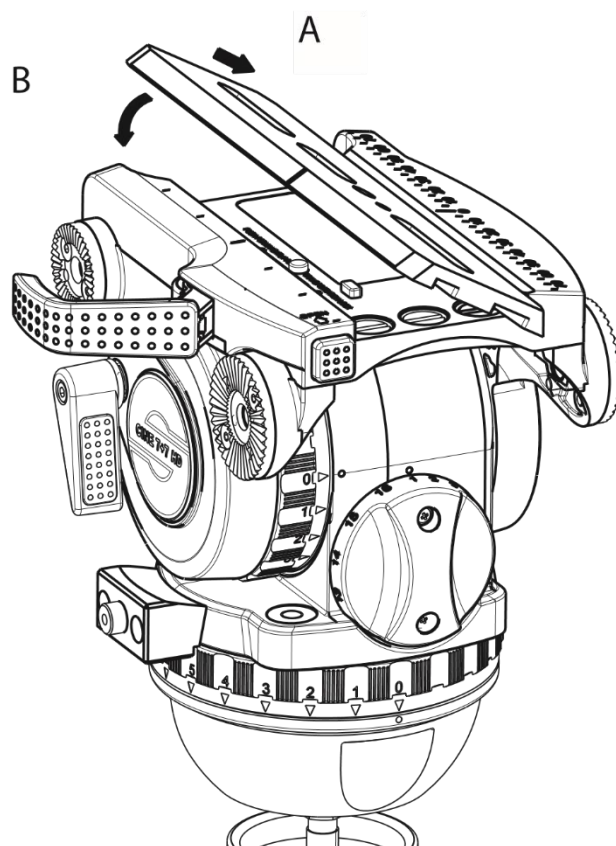


図 5

注意：カメラプレートが正しく取り付けられていないと、サイドロードレバーは完全に閉まりません。その場合、赤色のセーフティボタンを押してロックを解除し、サイドロードレバーを開いて（図 3 “OPEN”）、カメラ（プレート）を取り付け直してください。

注意：（移動時等に）カメラプレートを取り外した状態でサイドロードレバーを閉じるには、矢印のセーフティピン（図 4）を最後まで押し込んだ状態で、レバーを閉じてください。

**注 意**

カメラの不意な脱落を防止するため、セーフティ・プッシュボタンは、カメラ（プレート）を取り外すとき以外は押さないでください。

3.5 カメラのカウンターバランス調整

- ⇒ カメラのカウンターバランスを調整する前に、カメラの前後バランスを取ります。
- ⇒ チルトブレーキをかけ、チルト方向のドラッグを“0”に設定し、カウンタース調整ノブを“1”に戻してください。ヘッド正面の荷重域切替えスイッチ（ブーストボタン）を「LO」の位置に合わせます。
- ⇒ カメラを片方の手で押さえ、チルトブレーキを解除してください。
- ⇒ カメラの前後一方が重い場合は、まずサイドロードレバーを開いてください（図 3 “SLIDE”）。カメラは片方の手で押さえたまま、搭載機材の後ろ側が重い場合は、カメラプレートを前方に、前側が重い場合は、カメラプレートを後方にスライドさせて調整し、カメラの重心位置を合わせてください。このとき、カメラは水平の位置を保つようにします。



注 意

カメラプレートは、サイドロードレバーをロック解除状態の位置から、さらに少し開くことでスライドするようになります。（※セーフティ・プッシュボタンを押す必要はありません）

- ⇒ サイドロードレバーを完全に閉じ、カメラプレートをロックしてください（7 ページの「注意」も参照してください）。
- ⇒ シネ 7+7HD には 16 段階のカウンターバランス調整およびヘッド正面には、HIGH および LOW の荷重域切替えスイッチを設けてあります。使用するカメラのセットアップが最もバランスの取れる位置にダイヤルを合わせてください。カウンタース調整ノブを数値の大きい位置から小さい位置へ回す（カウンタースバランス量を減少させる）場合、カウンタースバランス量の減少効果は回した時点で表れます。反対に、低い位置から高い位置へ回す（カウンタースバランス量を増加させる）場合は、フルードヘッドを一度チルトさせヘッドが水平に位置した時点ではじめて、増加効果が表れます。

3.6 パン・チルトのドラッグ調整

シネ 7+7HD はパン・チルト方向にそれぞれ 7 段階のドラッグおよびフリー機構を備えています。パンドラッグ・ダイヤルおよびチルトドラッグ・ダイヤルを回し、任意のドラッグに設定します。ダイヤルを“0”の位置に合わせると、ドラッグは作用しなくなり完全にフリーの状態になります。

ドラッグを調整する際は、パンブレーキもしくはチルトブレーキをかけないで下さい。ブレーキがかかっていると、ドラッグの違いを正確に感じるできません。両方のダイヤルを同じレベルに設定すると、パン方向およびチルト方向双方のドラッグが正確に一致し、ブレやガタツキのない対角線方向のパンニングが行えます。ヘッドをゆっくりパンおよびチルトさせると、内部でピンがギアにかみ合います。



注 意

ダイヤルは常に三角の印の位置に合わせてください。位置がズレている状態でヘッドをパン・チルトさせると、ヘッド内のピンおよびディスクを傷め、故障の原因となります。またヘッドをご使用にならないときや移動の際は、カウンターバランス量は最大に設定し、パン・チルトドラッグダイヤルをそれぞれ“0”に合わせるようにしてください。

3.7 ブレーキ

パンおよびチルトブレーキはそれぞれ、水平および垂直方向への動きをロックするために使用します。両方のブレーキは振動を抑制するように設計されていますので、撮影中でも安心して使用することができます。

3.8 電池の交換

自照式タッチバブルの照明は電池ホルダーに収納されているボタン型電池（CR 2032 3V）1 個で駆動します。電池ホルダーは、ドライバーなどの先の尖った物を使用して取り出すことができます。

電池交換は、電池ホルダーに記載されている『+』マークを確認しながら行ってください。

電池は 1 個で約 2000 回の点灯が可能です。

4 テクニカルデータ

耐荷重範囲：	2kg ～ 22kg
ブーストボタン：	LO 2kg ～ 15kg HI 9kg ～ 22kg
カウンターバランス：	16 段階＋ブーストボタン
カメラプレートのスライド幅：	150mm
ドラッグ：	パン・チルト共 7 段階およびフリー
チルト角：	+90°～-80°
パン範囲：	360°
使用温度範囲：	-40°C～ 60°C
本体重量：	4.1kg
カメラ取付け部仕様：	スナップ&ゴーサイドロードシステム
三脚取付け部仕様：	100mm ボールヘッド
パンバー：	伸縮型パンバー×1 本 (直径 18～22mm、長さ 350～520mm)
使用電池：	CR2032 3V 1 個

5 アクセサリー

シネ 7+7HD 用アクセサリーとしては以下の製品がご利用いただけます。

- ⇒ フロントパンバー HD S (製品コード : 3373)
- ⇒ パンバー HD レフト (伸縮型) (製品コード : 3371)

6 お手入れの方法

フルードヘッドが汚れた場合は、柔らかい布を使用して汚れをふき取ってください。
汚れがひどい場合には、柔らかいブラシと中性洗剤を使用してください。ただし、洗剤を使用する場合は、ヘッド内部に液が入らないよう注意してください。

7 保証

本製品の保証期間は 1 年間です。

ただし、次の場合には当社の保証が適用されません。

- ⇒ 本製品が不適切に扱われた場合、またはテクニカルデータに記載された条件の範囲外で使用された場合。
- ⇒ 当社が認定していない者が製品を分解した場合。

お問い合わせ先 :

ヴィデナムプロダクションソリューションズ株式会社

〒105-0011 東京都港区 芝公園 3-1-38

芝公園三丁目ビル 1 階

電話 : 03-5777-8040 FAX : 03-5777-8041

大阪オフィス

〒531-0072 大阪市北区 豊崎 5-2-13

電話 : 06-6359-2440 FAX : 06-6359-2441



※本取扱説明書の内容、および製品のデザイン・仕様等は、予告なく変更になる場合がございます。

Rev.4.0 作成 : 2022 年 6 月

